

# 大規模水害を想定し、北諏訪小などで総合防災訓練実施 地元では事前にワークショップで危険個所、避難経路確認

大規模水害を想定した市の総合防災訓練が31日、市役所、北諏訪小学校などで行われました。今年の夏の豪雨災害を考えると、この想定はどんぴしゃりでしたね。

今回の総合防災訓練は、地元や医師会、東北電力、赤十字など20近い組織から1000人を超える人たちが参加しました。私は市議会のメンバーとともに北諏訪小学校周辺で行われた訓練を視察しました。北諏訪小学校は飯田川のすぐそばです。

今回は飯田川や保倉川が氾濫しそうだとの想定での訓練でした。一昨年の7月末、上越市の吉川区、大島区を中心に豪雨被害が出たときには、避難に関する情報伝達がうまくいかなかったことが問題になりました。今回の訓練は、この点を意識したものとなっていました。防災行政無線や防災ラジオなどを通じて出された避難準備情報や避難勧告などがきちんと伝わったかどうかを試されました。私が聞いた限りではうまくいったようです。



ヘリによる救助訓練も実施



医療救護訓練救助訓練の説明



土のう製造機も登場

平場での水害で、近くに高台がないところは、避難先となるのは学校です。一定の高さのある学校の教室棟、屋上というのは避難場所としてはもっとも安全な場所です。今回の訓練の前に、地元の町内会ではワークショップをやって、どういうルートで避難したらいいか、危険個所はどこにあるかなどを検討したといいますが、避難者の列のなかにリヤカーでお年寄りや車いすを運ぶ姿を見て、今回はいまままでと違うなど感じました。たいしたものですよ。

言うまでもなく、総合防災訓練では避難訓練だけでなく、災害時緊急放送訓練、土のうによる水防訓練、医療救護訓練など様々な訓練が行われます。そのなかで私が注目した訓練のひとつは医療救護訓練です。大水害によって多数の負傷者が発生した場合、現場では傷の程度を即座に判定し、治療や搬送の優先順位を決めなければなりません。そのために、負傷者を程度に応じて黒、赤、黄、緑の4つに分けて手当てするという、災害時ならではの対応で出来るだけ

多くの人を救助する仕組みが、考えられ、組み立てられています。初めから、上越総合病院

の籠島先生が、医師と救命士の連携の重要性、負傷者を分けるときなどにボランティアが大勢必要であることなどをとてもわかりやすく説明してくださいました。

## 地域おこし協力隊受け入れで準備開始



10月から大島区、吉川区に地域おこし協力隊員が入ってきます。このうち吉川区では3日、隊員の住まいとなる家の掃除が行われました。(写真は吉川区上川谷にて私が撮影したもの)

もうひとつ、今回の訓練で注目していたことがあります。それは今年度予算で約260万円かけて導入された「災害時等情報連絡システム」(木田庁舎、教育プラザ、13区総合事務所をつないでテレビで会議を行う仕組み)がどう機能したかです。この日はこのシステムを使った会議を初めてやったとのことでした。東京都の半分にもなる大きな面積がある上越市にとって、災害時の緊急会議を1か所に集まらないで行えるかどうかは重要な問題です。残念ながら、この会議の様子は見る事ができませんでした。防災危機管理課が記録をとっているなら、議会側にも見せてもらいたいものです。



【ツルリンドウ】漢字で「蔓竜胆」と書きます。リンドウ科の多年草のツル植物。花は薄紫色です。秋から冬にかけて、光沢のある楕円球状形の赤い実をつけます。写真は吉川区山方にて撮影。



もう四〇年近くも付き合いをしているにもかかわらず、柏崎の母についてこんなにも知らないことがあるとは……。今年のお盆、一緒にラーメンを食べに行つて、驚いたというよりも笑つてしまいました。

柏崎の母というのは、七月に満八九歳になったばかりの義母です。妻と私の三人でラーメン屋さんへ行つたのは午後一時頃でした。お盆といえども、この時間帯になれば空いているだろうと出かけたお店は、妻の実家から車で五分くらいのところになりました。お店に入ると、私たちの他に数組のお客さんがいるだけでした。楽々と席を確保できました。

メニューをしばらく見て、なんだかんた言いながら柏崎の母と妻が最終的に決めたのは冷やし中華です。私だけが野菜ラーメンでした。注文してから出来上がったものが運ばれてくるまで、そうですね、二〇分くらいかかったのではないかと思います。この間に、私はお店にあった分厚い写真集『写真アルバム 柏崎・刈羽の昭和』をめくり、妻と柏崎の母はおしゃべりを楽しんでいました。

写真集は米山の北や東側に位置するところに住んでいた人たちの暮らしを記録したものです。隣接地に住む私たちとは昔から交流があり、暮らしの中には共通するものもたくさんあります。惹きつけられた写真のひとつは、高柳石黒小学校板畑分校の区民運動会の写真でした。私がついていた源小学校水源分校の運動会とそっくりな雰囲気があり、小さなグラウンドでとび競争をしたことや米俵を持ち上げる競争などを思い出しました。また、黒姫山で行われた相撲大会の写真でも水源分校の土俵での取り組みを思い浮かべました。

どういうきっかけだったか忘れてしまいましたが、写真集を見ている途中で、柏崎の母がキムチなど食べ物のお話をしているのが耳に入ってきました。「私ね、白菜キムチが好きなんだわ」と言ったのに話が出てきた食べ物はなんとアイスモナカです。「そろそろ無くなるから買っておきなきゃ」と言ったのです。夏場はアイスモナカを大量に買い込み、冷蔵庫に保管しておき、毎日食べないと気が済まないという話を聞いて、最初は信じられませんでした。東京生まれ、東京育ちで、戦争時代の食糧危機を経験してきた義母は、嗜好品を大量に買っておくような人には思えなかつたからです。

横井戸の話も新鮮でした。柏崎の母は東京育ちということが私の頭に入っていて、横井戸と結びつけて考えたことはありませんでした。でも、嫁ぎ先の柏崎の家では、水道はなく、私のところと同じく横井戸なくして暮らしては成り立たなかつたのです。横井戸から出てくる水は、家の裏にあった四角いコンクリート製(?)の入れ物にちよろちよろと入っていて、夏場は冷たく、冬場は暖かつたそうです。お風呂の水は大事に使い、一週間に一度しか換えなかつたとか。大笑いしたのは、隣の親戚の家へ風呂もらいに行つた時の話でした。風呂に入る時、家の人に「お静かに」と言われ、声を出さないようにしたただけでなく、水の音もたてないようにじっとしていたというのです。「お静かに」が「ゆっくり」という意味だとは思わないですよ。

さて、ラーメン屋からの帰り道、食料品スーパーに寄りました。いうまでもなく、アイスモナカを買うためです。柏崎の母は一個九八円の「モナ王」を二〇個も買い求めると、妻と一緒にうれしそうな顔をしながら私の軽自動車に乗り込んできました。

## 木草庵の見事な茅葺き屋根復活

牧区のふるさと村の木草庵の屋根ふき替え工事が終わって、完成イベントが行われるというので1日、出かけてきました。

茅葺き職人も少なくなり、葺き替

えに使う茅もなかなか手に入らないという中で、見事な屋根に仕上がっているのには驚きました。こういう丁寧な仕事を見るとなぜかうれしくなりますし、ホッとします。

この日は保倉川太鼓のみなさんによる祝い唄と勇壮な太鼓でオープニング、その後は木草庵の中で尺八や二胡などの演奏がありました。お客さんが大勢で、注文したそばを食べることができたのは、太鼓演奏が終わってから約1時間後になりました。私の好きなヨウゴやソウメンカボチャの料理もありました。



上越地域各消防署における空間放射線量測定結果(測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常の範囲は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だということです。

	8月28日(水)	9月4日(水)
上越南消防署	0.040	0.040
上越北消防署	0.057	0.043
新井消防署	0.050	0.047
頸北消防署	0.043	0.040
頸南消防署	0.040	0.043
東頸消防署	0.047	0.043
高土分遣所	0.050	0.047
名立分遣所	0.047	0.050

## 県道上越安塚柏崎線災害復旧工事、10月末には完了

8月20日の豪雨で道路が決壊した同線の吉川区上川谷の現場で、災害復旧工事が始まりました。県によると、10月末には工事が終わり、その時点で交通止めを解除することです。

